



## 「肥満大敵」

今回は「肥満」についてのお話です。われわれ同様、いまやペットにおいても肥満はありふれた問題となっています。そしてより深刻なのは、飼主さんがその危険性について関心が低い点です。

体重管理をする上で、まずペットの理想体重を知りましょう。品種の特徴などにより、人間のような体長に見合った理想体重の算出はイヌ・ネコでは難しく、また長毛種では実際の体型が把握しにくいので、下記の表を参考にチェックをするか、もしくは獣医師に相談してみると良いでしょう。

そしてもし「肥満」とわかったら、適切な減量計画を立てることが重要です。これには専門的なアドバイスが必要ですし、中に単純な肥満でなく、症候性肥満とよばれる病的な肥満や、すでに肥満により二次的な障害を伴っているケースもありますので、まずは動物病院の受診をおすすめします。

単純な肥満の場合、その多くは、摂取カロリー>消費カロリーという状態であるため、摂取カロリー、すなわち食事を見直します。まず、自分のペットが一日に何をどのくらい、どういう状況で食べているかチェックしてください。

主食のフード以外の間食が多いなら、まずはそれを減らします。ゴホウビにあげるジャーキーも、1本でなくひとかけらでよいのです。

フードについても、一般に高脂肪のものはカロリーも嗜好性も高いため、減量用の調整食の使用が成功への近道となります。最近では、栄養価はもちろん、嗜好性や満腹感にも配慮した各種減量食が販売されています。各フードに示されている給与量の目安を参考に、きちんと計量して与えましょう。

また自由採食や、多頭飼育による摂食の競合は、摂食量の増加につながりやすいため、一日量の管理と食事環境にも注意してください。コングなどを使い、時間をかけて食べさせることも有効です。

「ご飯を減らすのはかわいそうだから、運動量を増やします！」と言われる飼主さんも多いですが、食事療法に比較し正確性が低く、肥満により運動能が低下していたり、過度の運動に不向きな品種もあるので、あまりおすすめできません。適度に体を動かすことは大切ですが、遊びや散歩を無理なく増やす程度に考えてください。

そして大切なのは、定期的な体重測定により、評価を行うことです。1週間毎の下降ラインは現体重の0.5~2.5%程度が妥当と言われており、健康状態も含めた経時的な評価とカロリーの再調節が必要です。この場合も獣医師等のアドバイスを受けると良いでしょう。

「(太っているほうが)見た目がかわいい」なんて言ってる場合じゃありません。肥満が万病の元であることはペットも同じです。実際、肥満によりリスクが高まる糖尿病や膝

炎、運動器・呼吸器疾患、変形性関節症などで、苦しんでいるペットと飼主さんがたくさんおられます。ペットの体重管理は飼主さんの責任です。この機会にぜひ、ペットの体型チェックをしてあげてください。  
(獣医師 小崎美紀)

BCS	1	2	3	4	5
	削瘦	体重不足	理想体重	体重過剰	肥満
%理想体重	≤85	86-94	95-106	107-122	123≤
%体脂肪	≤5	6-14	15-24	25-34	35≤
肋骨	脂肪に覆われず容易に触知できる。	ごく薄い脂肪に覆われ容易に触知できる	わずかに脂肪に覆われ触知できる	中程度の脂肪に覆われ触知困難	厚い脂肪に覆われ触知が非常に困難
腰部	皮下脂肪がなく骨格構造が浮き出ている	皮下脂肪はわずかで骨格構造が浮き出ている	なだらかな輪郭またはやや厚みのある外見で、薄い皮下脂肪の下に骨格構造が触知できる	なだらかな輪郭またはやや厚みのある外見で、骨格構造はかろうじて触知できる	厚みのある外見で骨格構造は触知困難
腹部	腹部ひだ (abdominal tuck) は深くなり強調された砂時計型を呈する	腹部ひだがあり顕著な砂時計型を呈する	腹部ひだがあり適度な腰のくびれがある	腹部ひだや腰のくびれはほとんどあるいは全くなく、背面はわずかに横に広がった状態	腹部が張り出して下垂し、腰のくびれはなく背面は顕著に広がった状態/脊柱周囲が盛り上がりると溝を形成することがある

BCS	1	2	3	4	5
	削瘦	体重不足	理想体重	体重過剰	肥満
%理想体重	≤85	86-94	95-106	107-122	123≤
%体脂肪	≤5	6-14	15-24	25-34	35≤
肋骨	脂肪に覆われず容易に触知できる	ごく薄い脂肪に覆われ容易に触知できる	わずかに脂肪に覆われ触知できる	中程度の脂肪に覆われ触知困難	厚い脂肪に覆われ触知が非常に困難
骨格の隆起	容易に触知できる	容易に触知できる	—	—	—
腹部	腹部ひだは深くなっている	腰のくびれがありごく薄い脂肪層が触知できる	適度な腰のくびれがあり、腹部はごく薄い脂肪層に覆われる	腰のくびれはほとんどあるいは全くなく、腹部は丸みを帯び中程度の脂肪に覆われる	過剰な脂肪沈着によって膨満し、腰のくびれがなくなる。脂肪は腹部、腰、あるいは四肢に蓄積することもある

引用：日本ヒルズ・コルゲート株式会社 資料より

